

中小企業タイムズ

Small and Medium Enterprises Times 山梨県中小企業団体中央会機関誌

定価 **100円**
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中
に含まれます。

今月の見どころ

- 組合実態調査書の概要報告…………… 1面
- 組合等の活動を紹介…………… 4・5面
- 6次産業化と
ものづくりに取組む事業者を紹介…………… 6面

5 May
2016年
第714/289号
(毎月1日発行)

4月の出来事

●時事

- 1日 電力小売りの全面自由化スタート
- 14日 熊本で震度7、熊本地震16日にも

●山梨県中央会ニュース

- 26日 正副会長会議、監査会

5月の予定

- 17日 正副会長会議、第1回理事会

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

中小企業組合の 現在と課題

全国中央会の組合実態調査の報告

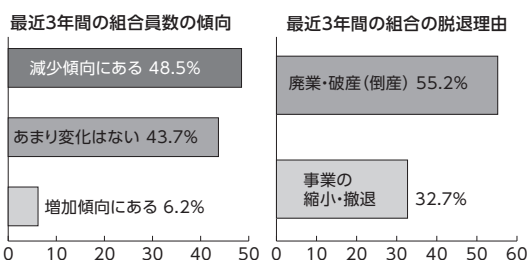
はじめに

協同組合は中小企業の連携組織の中心的存在として、1981年の46,802をピークに減少傾向にあり、2014年3月末には29,667組合となっており、新設組合数は、2013年度、269組合、2014年度317組合という状況にある。

調査結果 ～共同事業の実態把握を中心に～

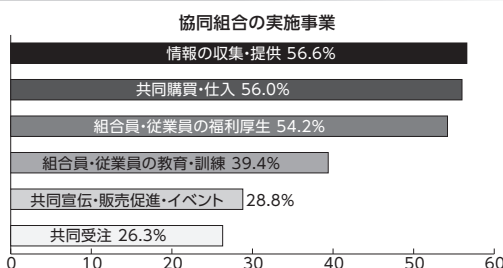
1 事業協同組合の状況

最近3年間の組合員数の傾向は、「減少傾向にある」(48.5%)、「あまり変化はない」(43.7%)、「増加傾向にある」(6.2%)で、最近3年間の組合の脱退理由は、「廃業・破産(倒産)」(55.2%)、「事業の縮小・撤退」(32.7%)となっている。



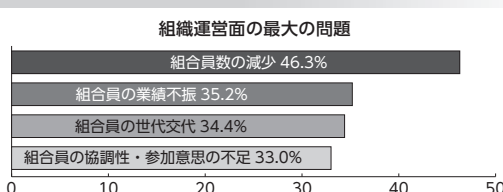
2 共同事業の現状

協同組合の実施事業は、半数以上が取り組んでいる事業は、「情報の収集・提供」(56.6%)、「共同購買・仕入」(56.0%)、「組合員・従業員の福利厚生」(54.2%)となっている。また、「組合員・従業員の教育・訓練」(39.4%)、「共同宣伝・販売促進・イベント」(28.8%)、「共同受注」(26.3%)などがそれに続いている。

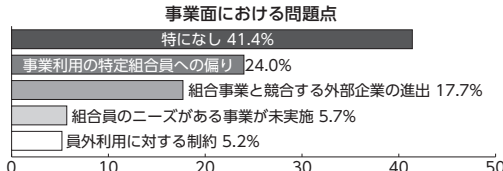


3 組織運営面、事業面の問題点

組織運営面の最大の問題は、①「組合員数の減少」(46.3%)、②「組合員の業績不振」(35.2%)、③「組合員の世代交代」(34.4%)、④「組合員の協調性・参加意思の不足」(33.0%)となっている。



事業面における問題点の上位は、①「特になし」(41.4%)、②「事業利用の特定組合員への偏り」(24.0%)、③「組合事業と競合する外部企業の進出」(17.7%)、④「組合員のニーズがある事業が未実施」(5.7%)、⑤「員外利用に対する制約」(5.2%)となっている。



全国中小企業団体中央会では昨年度「中小企業組合制度研究会」

を設置し、中小企業組合の意義・役割、組合制度について検討を行

い、その中で全国の事業協同組合と商工組合の実態調査を行った。

調査の中から、福井県立大学経済学部講師の山崎淳委員の事業協

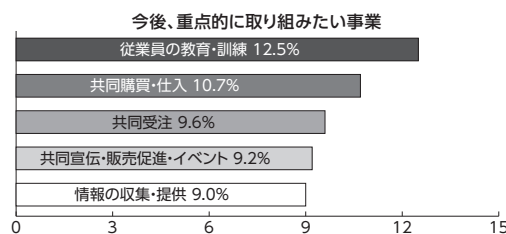
同組合に関する調査(有効回収数1,599組合、有効回収率73.7%)

の分析の概要を報告する。

「組合員のニーズがある事業が未実施」(5.7%)、⑤「員外利用に対する制約」(5.2%)となっており、第1位の「特になし」(41.4%)は、第2位の「事業利用の特定組合員への偏り」(24.0%)を大きく上回る。

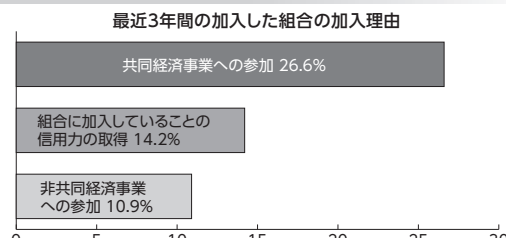
4 今後、重点的に取り組みたい事業

今後、重点的に取り組みたい事業の上位3項目は、①「従業員の教育・訓練」(12.5%)、②「共同購買・仕入」(10.7%)、③「共同受注」(9.6%)、④共同宣伝・販売促進・イベント(9.2%)⑤情報の収集・提供(9.0%)となっている。



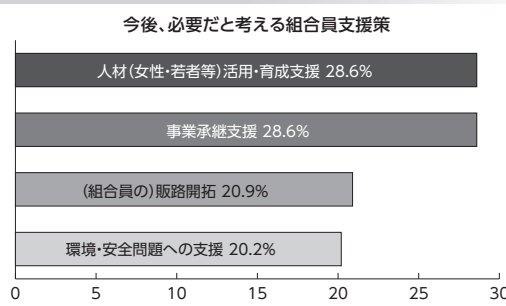
5 最近3年間の加入した組合の加入理由

最近3年間の加入した組合の加入理由の上位3項目は、①「共同経済事業への参加」(26.6%)、②「組合に加入していることの信用力の取得」(14.2%)、③「非共同経済事業への参加」(10.9%)である。



6 今後、必要だと考える組合員支援策

組合や組合員をめぐる最近の環境変化の中で、「今後、必要だと考える組合員支援策」についての上位項目は、①「人材(女性・若者等)活用・育成支援」(28.6%)、②「事業承継支援」(28.6%)、③「(組合員の)販路開拓」(20.9%)、④「環境・安全問題への支援」(20.2%)である。



この結果を踏まえ、組合員への支援について、上位の項目は、中小企業経営の重要課題でもあり、どのように支援することが効果的かを検討することが求められる。

中小企業組合の数も減り組合員数も減りつつある中で、いずれの調査も組合の厳しい状況を示しているが、組合員企業の経営支援のために組合の果たす役割の重要性は変わりなく、共同購買・共同受注などの共同経済事業を中核にしながら、情報の収集・提供、組合員・従業員の人材育成や福利厚生の充実など非経済事業の必要性が高まっており、組合員である中小企業者を取り巻く環境が変化する中で、改めて組合の意義・役割、組合制度について問うことが求められている。

通常総会終了後の手続きについて

3月には多くの組合が決算期を迎え、決算関係書類等の作成、総会の開催、行政庁への書類届出や税務申告等、非常に多忙な時期となります。そこで、今回は通常総会終了後の事務手続きについて紹介します。手続きには遅れがないようご注意ください。

■総会議事録の作成

総会を開催した際、その議事について書面または電磁的記録をもって議事録を作成しなければなりません。総会議事録に記載すべき事項は次のとおりです。議事録は、その名のとおり議事の記録ですので、議決された内容だけを記載するのでは足りず、提案、討議の内容、決議の方法及びその結果を記載する必要があります。

- ①招集年月日
- ②開催日時および場所
- ③理事・監事の数、出席理事・監事の数ならびに出席の方法
- ④組合員数および出席者数ならびに出席の方法
- ⑤出席理事の氏名
- ⑥出席監事の氏名
- ⑦議長の氏名
- ⑧議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名
- ⑨議事の経過の要領およびその結果

■理事会議事録の作成

理事会の議事録は、理事の責任を明らかにする記録となるので、明瞭かつ克明に記載しなければなりません。特に、賛否の別は氏名を記載しておくことが大切です。議事録の末尾には出席した理事全員が署名します。理事会議事録に記載すべき事項は次のとおりです。

- ①招集年月日
- ②開催日時および場所
- ③理事・監事の数および出席理事・監事の数理事会の議事のならびにその出席方法
- ④理事会に出席した理事の氏名
- ⑤理事会に出席した監事の氏名
- ⑥理事会の議長の氏名
- ⑦経過の要領およびその結果

■決算関係書類の提出

決算関係書類の提出は毎事業年度終了後、必ず行わなければなりません。これは組合の決算が終了し、監事による監査を受けたのち、総会の承認を得るとその日から「2週間以内」に所管行政庁に総会議事録を添えて提出しなければなりません。

■定款の変更

定款の変更は、総会において特別議決(出席組合員数の2/3以上の賛成)を要する重要事項であり、必ず行政庁の認可が必要となり、この認可をもってはじめて定款変更の効力が生じます。定款変更を行う場合は、事前に所管行政庁との協議等をしており方が認可がスムーズに進む事項がありますので、余裕をもって取り掛かる必要があります。検討されている段階で事前に中央会にご相談下さい。

■役員の変更

ほとんどの組合で役員の任期は定款で2年と定めてあるため、2年に一度は役員改選の必要があります。役員の改選があった場合は、2週間以内に所管行政庁に役員の変更届を提出することが定められています。

なお、役員の変更には、通常総会や臨時総会での全役員の改選や一部役員の補充、理事会での代表理事や副理事長等の役付理事の選定等の場合があり、いずれの場合も役員変更届書を提出しなければなりません。

役員変更とは、役員の氏名又は住所の変更があった場合、役員の改選又は補充があった場合、代表理事の交替、役付理事の交替、役員が死亡又は辞任した場合などの役員に関する一切の変更をいいます。



●総会および理事会議事録、行政への届出の手続き等でご不明な点がございましたら、中央会または組合担当指導員にお問い合わせください。

TEL 055-237-3215

新たな成長の可能性はあるのか

「成長」という言葉は、明るい未来に対する希望のような雰囲気を持っている。我々は長い間、経済成長という言葉で自明のもの、善なるものとして考え、頑張ってきた。しかし、経済成長のためには、生産効率を上げるか経済的な差を利用して、利潤の拡大を続けなければならない。幸いなことに、戦後の我が国は、絶え間ない技術革新により生産性を向上させ、安い資源を輸入して優れた製品として加工し、諸外国で高く売って利潤を得て、史上まれなる経済成長を遂げることができた。

金融理論の中の「ゼロサム」という言葉がある。これは一方の利益は他方の損失になり、市場全体ではプラスマイナスゼロになるという意味で、これに倣うと、日本経済の成長をもたらした経済的利益は、どこかの国の誰かからいたのだ。

しかし、世界経済の枠組みが変わり、これまでと同じ形では儲けられず成長できないことが明らかになり、製造業はより経済的なメリットが大きい発展途上国へ移って行っていかざるを得なくなった。そして、現在の我が国の利益や

成長の一部は、国外からではなく国内の経済社会の様々な「格差」を源泉としているのではないだろうか。例えば、大都市の繁栄と地方の衰退、正社員と派遣社員やパート労働者の待遇格差、大企業の高収益と下請けの中小・小規模企業の経営難など。

「地方創生」という名のもとに各地方が競い合う時代が到来した。当然、どこかの地方の成長の源泉は、いずこの地方の後退につながっている。例えば「ふるさと納税」を受けた地方は新たな税収を喜ぶが、国内に新たな税源が生まれたわけではない。革新的な生産性向上の手法がない以上、すべての地方が発展・成長することは不可能だ。

全国各地の地方が新たな手法で奪い合うための知恵比べをするのではなく、地域内の経済循環を少しずつ拡大しながら、無理のない成長を達成する手法の構築は可能だろうか。



データから見た

業界の動き

平成28年
3月分

情報連絡員からの景況報告の概要

平成28年3月における山梨県内の全業種のDI値(前年同月)は、売上高4ポイント、収益状況2ポイント、景況感2ポイント共に増加。全体的に改善傾向にあるように見える一方、前月比で比較すると売上高は不変だが、収益状況、景況感ともに6ポイント悪化している。特に、製造業では前月比の売上高20ポイント、収益状況25ポイント、景況感15ポイントとマイナス幅が大きく2ヶ月ぶりに急激に悪化した。

例年、年度末のこの時期は親会社や大手メーカー等から生産調整による受注が多くあるが、長期化する中国経済の減速や原油価格の下落による原産国の経済低迷等の影響により、受注減が昨年秋頃から続いている。国内需要の縮小や公共工事の減少も山梨県の地域経済を一層悪化させる要因となった。

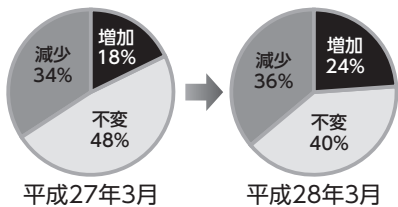
しかし、日本銀行によるマイナス金利政策の導入により宅地購入希望者の増加や懸念されていた中国人旅行者も順調に推移している報告も寄せられた。

今後、価格競争や技能者の人手不足、物価上昇に伴う消費者マインドの低下等、景況感の悪化要因や経営課題に加え、平成29年4月に予定されている消費税率10%への引き上げへの不安感から企業や家計の支出抑制も懸念される。



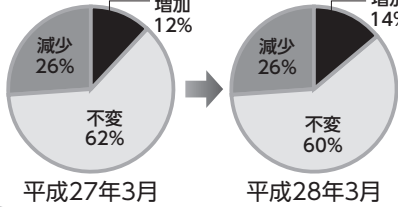
データから見た業界の動き(平成28年3月分)

▶ 売上高 (前年同月比)



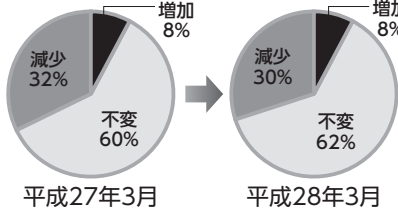
- DI値 ▲12(前年同月比+4)
- 業種別DI値
製造業 ▲35(前年同月比▲15)
非製造業 +3(前年同月比+16)
- 前月比DI値
製造業 20ポイント悪化
非製造業 13ポイント改善

▶ 収益状況 (前年同月比)



- DI値 ▲12(前年同月比+2)
- 業種別DI値
製造業 ▲45(前年同月比▲40)
非製造業 +10(前年同月比+30)
- 前月比DI値
製造業 25ポイント悪化
非製造業 7ポイント改善

▶ 景況感 (前年同月比)



- DI値 ▲22(前年同月比+2)
- 業種別DI値
製造業 ▲40(前年同月比▲25)
非製造業 ▲10(前年同月比+20)
- 前月比DI値
製造業 15ポイント悪化
非製造業 不変

業界からの報告

■製造業

- 食料品(水産物加工)／ホテル・レストラン等向けの生食材は不調だが、ギフト商品(葬儀用)が伸長し、全体の売上は前年同月比99.8%。
- 食料品(洋菓子製造)／自社製品は、専門店向けは好調だが、量販店向けが不調。台湾向けの輸出は増加傾向だが、OEMは商品によって浮き沈みが大きく全体の売上は91.6%と不調。
- 食料品(菓子)／原材料が高騰しているが、販売価格に転嫁できないため経営は厳しい。
- 繊維・同製品(織物)／ネクタイ、裏地、傘地ともに厳しい状況。これまで好調だったインテリアにも受注に陰りが出てきた。
- 繊維・同製品(アパレル)／業況はよくない。
- 窯業・土石(山採石)／平成28年3月に入り、

骨材関係の年度末需要は山梨経済始まって以来の悪化ととらえている。

- 鉄鋼・金属(1)／横ばい状態から悪化、当分の間円高が推移する予想で生産調整が続くと予測。
- 鉄鋼・金属(2)／悪い状況が続いている。年々、悪化傾向。
- 一般機器／国内の景気は円高・株安と世界経済の低迷により、厳しい状況が続いている。半導体関係は動きが見え始めたが、輸出関係、内需ともに低迷しており先行きが不透明。景気回復は望めない状況。
- 電気機器／中国経済の悪化により東南アジアやヨーロッパをはじめ海外経済が悪化傾向。
- 宝飾(貴金属)／受注状況が若干良くなってきた感がある。

■非製造業

- 卸売(紙製品)／中国の景気減退の影響はあるが、国内の需要が増加しており業者間の仕入競争が激化しているため収益は悪化。また、県外資本の企業進出もあり業況は厳しい。
- 小売(青果)／天候不順により市場の入荷量の減少や販売価格が高騰、大型店舗の乱売り等により売上は減少。
- 小売(食肉)／高値安定が続いている。今後、国産牛は昨年度以上に高騰する見込み。
- 小売(電機製品)／大型量販店は好調だが、地域小売店はテレビや太陽光発電等の受注減により前年同月比マイナス15%。
- 小売(事務機文具)／顧客からの値引き依頼が多発しており、対応ができれば受注に繋がらない悪循環になっている。
- 小売(石油)／原油価格の上昇に伴い卸価格も上昇しているが、販売価格に転嫁できない状況。
- 商店街／消費者マインドが、さらに落ち込んでいる。
- 不動産取引／宅地購入希望者が増加傾向にある。賃貸物件の動きは一段落した。
- 宿泊業／春節以降も中国人観光客は順調に推移しているが、人材不足が続いている。
- 一般廃棄物処理／少子高齢化や業態の変化によるコストアップのため、これまでの条件での取引は困難になってきている。
- 警備業／公共工事の受注量の減少と契約条

件の強化により完成期日及び工作物の完成検査引き渡し条件が厳しく工期の圧縮などによる警備期間も圧縮されたため、3月末は多忙を極めた。

- 建設業(総合)／3月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ件数で26%、請負金額で56%増加。3月までの累計では、件数8%、請負金額10%減少しており、今年度は公共工事の減少が明らかとなった。
- 建設業(住宅関連)／新築工事の受注が減少。
- 建設業(鉄構)／県外物件の依存度が高く、県内の動きは少ない。3月度に入り若干見積り件数が増加傾向。
- 設備工事(電気工事)／公共工事は例年に比べ落ち込んだ。民間工事もないため、このままだと県内の事業者が淘汰されていく。
- 設備工事(管設備)／アパート等の賃貸物件の増加により売上は増加。経営者の高齢化が進み、後継者がいないため廃業する組合員が出てきている。
- 運輸(タクシー)／売上は、前年同月比約7%増加。
- 運輸(バス)／運行単価が値上がりした分、仕事量、稼働率が減少した感がある。しかし、運賃の改正や燃料の値下がりにより利益率は上昇。
- 運輸(トラック)／ドライバー不足が深刻化。

オピニオン opinion

和紙の伝統を新たな形で広める。

市川三郷町は、1000年以上の歴史を持つ障子紙などに使われる「市川和紙」の産地です。当社は、1868年(明治元年)に手すき和紙の生産を始め、手すきから機械化に踏み切った1964年(昭和39年)には、業界初の色つき障子紙を販売しました。その年の秋には東京オリンピックもあり、カラーテレビ放送が開始された年で、色付きの障子紙が新しい文化を感じさせたのか予想以上の売れ行きでした。他にも、ペットがいる家庭向けに破れにくい障子紙や、たこ揚げ用の紙を作るなど、和紙の可能性を追い求めてきました。

私が、5代目の代表取締役就任した1986年(昭和61年)頃には、障子のない新築住宅が増え、売り上げは年々減少、このままでは伝統ある市川の和紙が衰退してしまうと思い、和紙を活用した新商品を模索し始めました。和紙の柔らかな質感をテーブルクロスに生かせないかと

●金長特殊製紙株式会社 代表取締役社長
(市川和紙工業協同組合 理事長)

一瀬 清治 氏

先代社長が力を注いできた開発を引き継ぎ、和紙に特殊なはっ水加工を施し醤油などをこぼしても汚れをすぐに拭き取れるテーブルクロスを開発しました。紙なので用途に合わせて切断したり使い捨てでもでき、さらに、クリーニング代がかかる布製のテーブルクロスに比べて経済性にも優れています。販売は、花模様、無地、桜、雲竜の4つの柄で、高級レストランなどから注文が相次ぎ「高級感もあって華やかになる」との声も寄せられています。

当社の「市川和紙を使った新たなテーブルクロス等の開発・販売」事業は、今年2月に経済産業省から地域産業資源活用事業計画に認定されました。今回の認定を機に、はっ水技術の向上と商品力の強化に取り組み、海外への売り込みも図っていきたいと思います。

私は、週末になると見本商品を車に積み、ユーザーから生の声を聞くために全国を渡り歩いています。情報は足で稼がないと!!。

モノづくりは、本当に面白い。



講習会

●一般社団法人山梨県一般廃棄物協会

TOPICS

「一般廃棄物の処理の違いと収集運搬業務の注意点」

知識の向上が業務の効率化と適正化につながる

山梨県一般廃棄物協会(篠原充会長 会員数7組合)は、3月26日中央会研修室において、講師に中嶋宏興氏((一社)廃棄物処理施設管理協会理事、山梨県クリーンエネルギー推進機構(株)局長)を招き、「一般廃棄物の処理の違いと収集運搬業務の注意点」をテーマに講習会を開催した。



講師の中嶋宏興氏

これは、行政からの家庭系一般廃棄物の収集運搬の委託を受けている事業者団体として、日頃の業務において住民

から出される廃棄物や資源物の分別の理由や焼却方式、3R(リデュース・リユース・リサイクル)など処分方法の違いを知ることにより、日々の業務を効率的かつ適正に行うことを目的に、現場従事者や作業管理者を対象に開催した。

講習会では、県内各地の広域処理センターの廃棄物焼却システムの違いによる可燃物・不燃物の取り扱い方法、紙・ビン・缶などの資源物ごとの3Rの目標と実際の処分状況、法律や基準などにより様々な規制を受けている一般廃棄物の適正処理の注意ポイントなどが、事例に基づいて詳しく説明された。

講習会の終わりには実際の収集運搬業務にあったの質疑応答が活発に行われ、約30名の参加



講習会の様子

者が熱心にメモなどをとっていた。参加者は、一般廃棄物の焼却方法や処分方法の違いを知ること、排出された一般廃棄物への異物混入に注意する意識向上や収集運搬の適正な業務遂行の再認識につながった。

織物と観光のまち富士吉田を全国へ発信! ハタオリステーション開催!

●山梨県絹人織織物工業組合
●富士吉田織物協同組合

TOPICS

山梨県絹人織織物工業組合・富士吉田織物協同組合(渡辺教一理事長)は、4月16~17日の二日間にわたり「ヤマナシハタオリステーション」を開催した。



体験に熱中する子ども達

このイベントは富士吉田地域の桜が満開となり、新倉山浅間公園などに多くの観光客が訪れるこの時期を狙って開催され、郡内地区の伝統工芸品である織物を観光客と地域住民に知ってもらうための新企画の催しとなった。

イベントの会場は富士急行線「下吉田駅」構内の倉庫を使った。昭和30年~40年代、富士吉田市内には多くの機織り(ハタオリ)工場が存在し、当時、完成した商品を全国へ貨物列車で運んだ出発点、織物発信の原点であるため、開催地を選んだ。今回のイベントは、織物と観光を結びつけられないだろうかという想いから、2つの組合と富士急行(株)が連携して実現した。

メインイベントは、地元で織られた生地による織物商品(傘、ストール、ネクタイ)の紹介及び販売、ハタオリの現場を体感できる展示や体験コーナーなど、ハタオリの魅力を感じることが出来る空間を来場者に提供した。また、地元関係団体による体験イベント、フリーマーケット、獅子舞の演舞、大道芸、ブルートレイン車輛による車掌体験、更には、4月23日から運航開始となる新型特急「富士山ビュー特急」の



店頭に並べられた織物商品

展示も実施された。

17日に雨に見舞われたものの開催された2日間は、多くの来場者で賑わっていた。

渡辺教一理事長は「より多くの方々にハタオリの魅力を感じていただく他、今回の経験を活かし、来年以降も織物と観光のまち富士吉田を全国に発信するため、積極的に開催していきたい」と話してくれた。

春満開 きて!みて!感じて! ~産地のパワー~

第45回甲府ジュエリーフェア開催

●山梨県水晶宝飾協同組合

TOPICS

山梨県水晶宝飾協同組合(中込健理事長、組合員189社)は、桜満開の4月6日(水)・7日(木)の両日、アイメッセ山梨で第45回甲府ジュエリーフェアを開催した。

初日のオープニングセレモニーでは、後藤斎山梨県知事、樋口雄一甲府市長の来賓あいさつの後、



恒例となった知事夫人、中央会松葉会長夫人、甲府商工会議所金丸会頭夫人、ジェトロ山梨橋本所長、プラチナギルドインターナショナルのハンキンソン尚子社長、中込理事長夫人の6人の女性によるテープカットが行われ開幕した。

今回は、ジェトロ山梨とジェトロ上海の支援により、昨年中国上海で開催された上海ジュエリーショーにて組合と交流があった上海ジュエリー協会から15名が来県し、後藤知事夫妻、中込理事長夫妻が出迎えて親交を深めた。また、新宿からのシャトルバスを利用して20人の中国人バイヤーも来場し、商談が行われた。会場内には、Koo-fuの新作やメンズジュエリーなど初公開の2,000種類の新作が発表され、ジュエリー産地としての多彩なラインアップが全国にアピールできた。

昨春は、中国経済が好調であったためにジュエ



ジュエリーフェアの会場風景

リーにおいても「爆買い」現象が見られたが、世界経済の雲行きが不透明な中での開催となった今回は、出展企業82社、来場者1,762人、売上額18.5億円と、昨年を下回る結果となったが、企業間の垣根を超え、切磋琢磨した若手デザイナーのデザインと熟練した職人の技術が融合したコレクションの展示など、山梨のジュエリーの魅力・底力を国内・海外へ情報発信した開催であった。

市場を通じた共同事業で 組合員をサポート

●山梨県水産物商業協同組合

TOPICS

山梨県水産物商業協同組合(杉山一美理事長 組合員133社)は、甲府市地方卸売市場を利用する鮮魚等の水産物の小売・卸売事業者で構成されている。

組合の主要事業である「代払精算事業」は、組合員が甲府市地方卸売市場から鮮魚等を仕入れた時の仕入れ代金を組合が立替払いし、後日まとめて



購買事業を利用する組合員

組合員より回収するもので、年間の取扱高は約25億円になっている。「共同購買事業」では、組合員の店舗で販売する鮮魚をはじめ、調味料、缶詰め、インスタントコーヒー、菓子等あらゆる食品、食材等を提供しており、年間の販売総額は、約2億4千万円となっている。

また、魚の消費増加と地元での魚の購入をピーアールすることを目的に、市場で行う「消費者感謝デー」にも積極的に参加し、組合員の売上向上や事業活性化をサポートしている。この「消費者感謝デー」は、甲府市地方卸売市場が一般消費者に市場を毎年一回開放し、市場を知ってもらうとともに消費者に感謝の気持ちを込めてマグロの解体ショーとその試食、カニ汁の試食、無料の野菜釣りやバナナのたたき売りなどを行っているイベントで、甲府市民だけでなく多くの県民に好評をいただいている。



新鮮な品揃えの組合員店舗

その他にも、福利厚生事業として、「ゴルフコンペや新年会」を開催し、組合員の親睦や交流を深めている。

杉山理事長は「組合事業の合理化と活性化を積極的に行い、安価で質のいい商品の提供や、サービスの向上に努め、信頼され頼りにされる組合を目指していきたい。更に組合員の経営に貢献できる組合事業を積極的に展開していきたい。」と組合員目線で力強く語ってくれた。

「組織力」を武器に補助金事業を共同受注! ～補助金を活用した事業展開～

●一般社団法人山梨県木造住宅協会

TOPICS

一般社団法人山梨県木造住宅協会(中村伊伯代表理事)では、組織力を活かして国等の施策を会員事業所の経営の向上に役立てている。

当協会は、県内の工務店を中心に、設計事務所や木材事業者で組織された団体で、県産木材を活用した木造建築物の魅力発信を通じて、ハウスメーカーに負けない「地域・環境・住宅」が調和した三位



補助金事業を活用し、顧客に木造建築物の魅力を伝えている

一体の家づくりを推進することを目的に、平成24年に設立された。

協会では、設立当初から国等の補助金事業を積極的に活用した事業展開を行い、会員に役立つ補助金を活用した事業を実施するという形をとっており、いわば、協会を通して補助金事業を「共同受注」するような形となっている。

直近で活用した補助金には、「平成27年度地域型住宅グリーン化事業」がある。この補助金は、中小工務店等が木材流通事業者や建築士と連携して建築する長期優良住宅やゼロ・エネルギー住宅等の良質な木造建築物に対して補助されるもの。協会では、この補助金を会員が行う木造建築物の設計や施工費用の一部として補助しており、それにより、会員の工務店は、建築価格を抑えた優良住宅を施主に提供することができる。また、木造建築物の知



補助金事業を活用した人材養成事業の様子

識向上のための人材育成事業に補助金を活用しており、会員の技術向上に努めてきた実績がある。

これまで、様々な補助金事業を活用することで、国の求める省エネルギー住宅の普及を進めており、会員の仕事量の増加、県産材の普及、顧客の建築費用の抑制など、木造建築物全ての関係者に好影響をもたらしている。

協会は、今後も会員のためになる補助金事業の獲得に積極的に取り組んでいくこととしている。

スマホで集客セミナー

●山梨県化粧品小売協同組合

TOPICS

「伝えるのではなく伝わるのが大事」

山梨県化粧品小売協同組合(西山武夫理事長 組合員16社)は、「ゼロからはじめるスマートフォン集客術」と題し、3月16日に販売促進セミナーを開催した。

国民の3人に2人は持っていると言われているスマートフォンは、消費者の行動を一気に変化させた。主婦やシニア層など、これまで個人専用パソコンを持たなかったユーザーまでもが、一斉にスマートフォンでレストランを検索したりショッピングや予約等を行う



安倉講師

ようになり、消費行動は一変した。

化粧品小売業者は、これまでもドラッグストアやコンビニ、ネットショッピング等による販売チャネルの多様化と価格競争の波に飲み込まれないために、地域に根差した対面販売を重視し、電話注文や予約、DM作りなどに注力してきたが、効果は年々薄れてきていた。

そこで、(株)フォースタンドの取締役CEOの安倉秀人氏を講師に、集客の考え方やスマートフォンの上手な活用手法についてのセミナーを開催した。セミナーでは、個店の情報や特典等をスマートフォンで簡単に発信する手法等に加え、全国の化粧品店での集客・売上に結びついた成功事例等についても紹介された。安倉講師は、「スマートフォン集客は、“今”取り組むことが最高のタイミング。いち早く取り組むことで、競合に差を付けられるといったメ



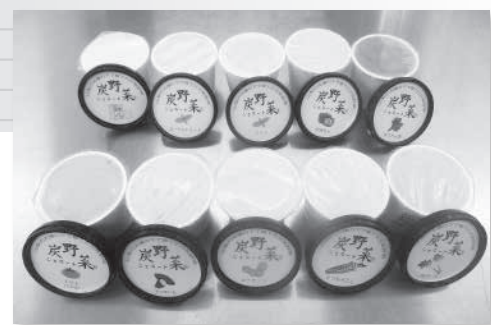
セミナー風景

リットがある。成果を高めるための近道として、ぜひ取り組んでほしい。」と語った。

受講者からは「顧客が必要な情報は何か実例を通して学ぶことができた。スマホサイトの作成手順を知ったので実践したい。」「情報超過の中、スマホで継続して読まれる価値のある情報を送り、顧客との関係を築く重要性が勉強になった。」等の感想が寄せられ、とても有意義なセミナーとなった。

チャレンジ! 6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者(1次産業)が地域にある農産物等を活用し、商工業者と連携して加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めることです。このコーナーは、中央会が6次産業化サポートセンターとして支援している事業者の取り組みを紹介しします。



ジェラート10種類

「混農林業」と「炭野菜」による地域資源のブランド化

●農業生産法人株式会社炭香ファーム 営業 小俣 強 氏

6次産業化に取り組むことになった経緯は?

株式会社炭香は平成19年に創業し、南都留森林組合が間伐した木材から炭を作り、その炭を加工した建材や消臭剤の販売等を行ってきました。近年の住宅建設の減少及び住宅販売額の低価格化に伴い、建材部門の売上は年々減少してきたことから、森林組合の残材等を素材として炭を焼き、炭を農地に撒くことで土壌改良を行い、収穫される農産物を「炭畑の炭



中小企業組合まつりにての試食販売

野菜」としてブランド化する新たな取り組みを始めました。「炭野菜」の生産販売事業に実験的に取り組み、地域の直売所で炭野菜の販売や、観光バスを誘致し「サラダ狩り」と名付けた野菜の摘み取り体験を開始したところ、大変、評判となりました。

一方、南都留森林組合は、木材搬出事業の採算性の悪化や森林所有者の高齢化などの理由により、地域の森林の荒廃に歯止めがかからない状況が続いたため、平成23年に100haの森林空間を整備活用し、みょうがやごみを栽培する「混農林業」の取り組みを開始しました。これにより炭香との連携が深まり、平成24年に混農林業と炭野菜のブランド化及び販路開拓を目的に、南都留森林組合(杉本光男代表理事組合長)と共同で6次産業化総合化事業計画の認定を受け、事業が始まりました。

6次産業化への課題は何でしたか?

森林組合が取り組む混農林業はまだ実験段階であり、生産方法を確立し安定した収量を得ることが課題となっています。また、当社が取り組む観光バスの誘致による炭野菜の摘み取り体験は、天候の影響を受けることが多く、雨天時の対応が課題でした。

そこで、「森林整備→間伐材活用→炭生産→森林空間活用+炭野菜の栽培」と連携させた事業に取り組むことで、南都留森林組合と当社のネットワークを活用し、荒廃林と耕作放棄地、水質や土壌などの問題改善と地域貢献、環境貢献を目指しています。

今後の展開は?

炭野菜の生産、販売を順調に進んだため、平成25年には、株式会社炭香から炭野菜部門を独立させ、株式会社炭香ファームをスタートし、平成26年に炭野菜を活用した炭野菜ジェラートを開発しました。現在は、かぼちゃ、ほうれん草、トマトバジル、にんじん、さつまいも、とうもろこしなどの季節限定野菜を使ったジェラートなどラインナップを増やし、談合坂のPAなどで販売しています。

今後は環境負荷を少なくする効果が期待される「炭野菜」としてブランド化の推進PRを行いながら、地産地消や観光拠点として「道の駅」等を活用、地元でのネットワークを強化し、更に付加価値を高める工夫をして地域活性化に寄与できるよう取り組みを進めていきます。

やまなしものづくり最前線!

自動車用精密部品の高速画像検査処理装置の開発

●クラウンファスナー株式会社 代表取締役 望月 厚志 氏

クラウンファスナー株式会社(望月厚志代表取締役南アルプス市田島)では、平成24年度のものづくり補助金を活用し、「自動車用精密部品の高速画像検査処理装置の開発」に取り組んだ。

同社は昭和48年にねじメーカーとして創業し、素材を圧力だけで成形する「冷間圧造」や棒状の加工素材を回転させながら強い力を加えて素材を変形させる「転造」などの技術開発を行ってきた。これら技術を生かした加工製品はAV機器やOA機器、光学機器などの幅広い製品のねじ部品として利用されてきた。

同社では、新たな分野として高性能部品が求められ

る自動車産業の受注獲得を目指し、ブレーキパッド部分に使用されるガイドピン、ロックピンの製造に着手し、高い技術力により製品の完成させた。しかし、自動車部品は人命に直結する「重要保安部品」であることから、取引先から製造した全ての製品に対する「全数検査」が求められ、量産化に対応するために、時間を要する現在の手動による画像測定の検査工程を改善する必要に迫られていた。

そこで、高速画像検査処理装置を導入し、検査工程の改善(高速自動化)を図った。開発した画像検査装置では、搬送方法からカメラ数、レンズ等に至るまで

詳細に検討した。特に、カメラは上部、横上部、横下部の3点に設置したことで、比較的大きな製品の検査も可能となった。また、タップ加工(ねじ上部のねじ切り加工)の有無を検査する上部カメラにレーザーセンサーも取り付けることで、キズや寸法の同時検査も

可能とした。その他にも、さらなる自動化を実現するため、新たなコンテナをストックを製作し、自動でコンテナを交換する装置も開発した。さらに、検査終了後の製品がコンテナに投入される際、打痕ができないように専用落下シュートも開発し設置した。

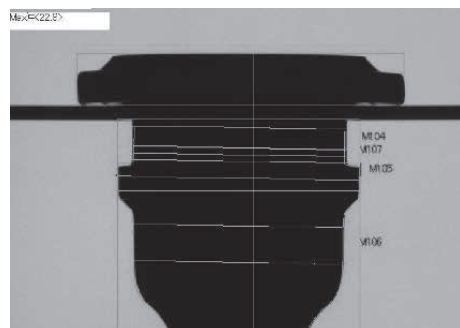
この検査工程の改善により、これまでの検査時間25秒から3秒以下にまで短縮することができた。これにより、製品の生産能力1週間分の検査を1日で完了することができるようになり、取引先が求める全数検査にも十分対応できる体制を整えた。

望月社長は、本事業を終え、次のように述べている。「製造業は守りに入ってはダメだと考えています。そのため、常に先を考え、設備投資をしていかなければなりません。私は、今ある状況を守るのではなく、常に攻めていきます。社員も私の要求に応じてくれます。だからこそ、おもしろい仕事ができるのです。」

クラウンファスナーとして本事業での開発の成功に甘んじることなく、常に次を見据え、新しい道に挑戦していく意気込みを語ってくれた。



高速画像検査処理装置



開発した高速画像検査処理装置の検査画像

中央会では、平成24年度より国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組む事業者を紹介します。



「ものづくり」への想いを語る望月社長

情報BOX

「中小企業の森整備事業」のご案内

日時 平成28年6月18日(土) 9:00～
【受付8:30～ ※小雨決行】

場所 金川の森 (笛吹市一宮町国分1162-1)

問い合わせ及び申込先 山梨県中小企業団体中央会 地域開発課

TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216

中央会創立50周年を記念し、「金川の森」に植樹した中小企業の木々も元気に育っております。

当会では昨年に引き続き中小企業の森の整備作業を実施し、その育成に努めていく予定です。皆様のご参加をお待ちしております！

●お申込みにつきましては、別途ご案内をさせていただきます。

「事業報告書」への“中小企業組合士”氏名の記載推進について

中小企業組合士制度の推進及び認知度向上のため、組合が総会に提出する事業報告書の中に在籍している「中小企業組合士」の氏名の記載を推進しています。記載については、法令等で定められたものではなく、あくまでも各組合の任意ですがご理解・ご協力をお願い致します。

事業報告書

自 平成 年 月 日
至 平成 年 月 日

I 事業活動の状況に関する事項 (略)

II 運営組織の状況に関する事項

- 1 総会の開催状況
- 2 利時期あ開催状況
- 3 委員会・部会等の開催状況
- 4 組合員数及び出資口数の増減
- 5 役員に関する事項
 - (1) 役員の氏名及び職制上の地位及び担当
 - (2) 兼務役員についての重要な事実
 - (3) 辞任した役員の氏名
- 6 職員の状況及び業務運営組織図
 - (1) 職員の状況

	前期末	当期増加	当期減少	当期末
人 数	人	人	人	人
平 均 年 齢	歳	歳	歳	歳
平均勤続年数	年	年	年	年

在籍中小企業組合士の氏名(当期末)

〇〇 〇〇 (認定番号 00000号)
〇〇 〇〇 (認定番号 00000号)
〇〇 〇〇 (認定番号 00000号)

〈この部分を新たに追加〉
※中小企業組合士の記入は、法令等で定められたものではなく、あくまでも各組合の任意です。

- (2) 組織図
- (3) 組合と協力関係にある組合員が構成する組織の概要
- 7 施設の設置状況
- 8 重要な子会社 (子法人、関連会社) の状況
- 9 組合の敵対組織の状況に関する重要な事項

III その他組合の状況に関する重要な事項

若者の採用・育成に積極的で 雇用管理の優良な中小企業を応援します！

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業(常時雇用する労働者が300人以下の事業主)を若者雇用促進法に基づき厚生労働大臣が「ユースエール認定企業」として認定する制度が平成27年10月からスタートしました。

認定した企業に対して情報発信を後押しすることなどによって、企業が求める人材の円滑な採用を支える若者とのマッチング工場を図ります。

ユースエール認定企業になると、以下の支援を受けることができるようになり、企業のイメージアップや優秀な人材の確保などが期待されます。

1. ハローワークなどで重点的PRを実施
2. 認定企業限定の就職面接会などへの参加が可能
3. 自社の商品、広告などに認定マークの使用が可能
4. 若者の採用・育成を支援する関係助成金を加算
5. 日本制作金融公庫による低利融資
6. 公共調達における加点評価

ユースエール認定企業になるには、認定基準を全て満たす必要があります。

お問い合わせ先

山梨労働局
職業安定部 職業安定課
TEL:055-225-2857 FAX:055-225-2785



伊勢志摩サミットの開催を控え

サイバー攻撃の脅威上昇中

セキュリティの脆弱性が狙われています！！

- サイバー攻撃を企む犯罪者は、企業や官公庁へのサイバー攻撃を経由して、直前に迫る「伊勢志摩サミット」の妨害を企むなど、サイバー攻撃の脅威は高まっています。
- サイバー攻撃にはネット環境さえあればよく、国境や県境、システムの大小は関係ありません。セキュリティの甘いシステムがサイバー攻撃の「踏み台」とされる危険性があります。
- 本年1月に発生した省庁等へのDDos攻撃では、県内にある事業者のサーバーが「踏み台」とされていました。
- 事業者の皆様が、サイバー攻撃の被害者・加害者とならないよう最新のソフトウェアに更新していただくなどシステムのセキュリティレベルの向上に努めていただくようお願いいたします。

皆様が被害者・加害者とならないため右側のチェックシートで確認しましょう。

山梨県警察サイバー犯罪・攻撃対策プロジェクト
電話：055-221-0110 (内線：3181・3182)

～セキュリティ対策は大丈夫？～

- チェック** 1 パソコンにはウイルス対策ソフトを入れるなど、パソコンを守る対策をしていますか？
- チェック** 2 OS(基本ソフト)のアップデートを行うなど、常にソフトウェアを最新の状態にしていますか？
- チェック** 3 重要情報の入ったデータを暗号化したり、複雑なパスワードで管理するなどの対策をしていますか？
- チェック** 4 重要情報の入ったデータのバックアップを定期的実施したり、インターネットに接続していないパソコンで管理するなどの対策をしていますか？
- チェック** 5 件名や内容が不自然なメールの添付ファイルやURLを安易にクリックせず、送信者に確認したり不審メールを検知する認証システムを導入するなどの対策をしていますか？
- チェック** 6 情報管理の必要性を浸透させる教養を従業員に実施していますか？
- チェック** 7 重要情報の管理など、情報管理に関する社内ルールを取り決めていますか？

診断
チェック
シート

新採用職員紹介

4月より新たに採用いたしました。よろしくお願いします。

●ものづくり・商業・サービス新展開支援事業アドバイザー●



市川 賢



須田 実



最賀 実



松木 秀文



三井 一男



山崎 剣介

第61回

山梨県中小企業団体中央会 通常総会開催のお知らせ

当会通常総会を次の日程にて開催致します。

開催
日時

平成28年
6月2日(木)
14:00～

開催
場所

セレス甲府(旧アピオ甲府)
本館「吉兆の間」
昭和町西条3600

情報BOX

個人情報を事業に活用する

すべての事業者[※]に個人情報保護法が適用されます。

個人情報を取り扱う際の注意点を確認しましょう。

- ①個人情報は、利用目的を定めて、その範囲内で利用すること
- ②情報の漏えい等が生じないように安全に管理すること
- ③個人情報を本人以外の第三者に渡すときは、原則として、あらかじめ本人の同意を得ること[※]
- ④本人からの請求に応じて、個人情報を開示、訂正、利用停止等すること[※]
- ⑤個人情報の取扱いに関する苦情にきちんと対応すること

※個人情報を名簿化した際に必要となるルールです。

編集後記

5月を迎え、通常総会を開催する組合等が多いと思いますが、総会終了後には議事録の作成や決算関係書類の提出、税務申告等が控えており、気が抜けない日が続きます。

今月号の2面に、総会終了後の諸手続きについての内容を掲載しましたのでご確認ください。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215

FAX 055-237-3216

E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

Come on! Truck Driver!



トラックドライバーの仕事って何?荷物を運ぶ仕事?いいえ、トラックドライバーの「仕事」は「運ぶ仕事」ではなく「届ける仕事」です。ご存知でしょうか、国内物流の約9割を担っているのはトラックであること。『今日出した荷物が明日には届く』そんな『当たり前』の陰にはトラックドライバーがいることを。荷物を待つ人のもとへトラックドライバーは預かった荷物とともに『生活・経済』を後ろに載せて、より確実に、環境に配慮しながら、今日も走り続けています。トラックの魅力を教えてほしい?それは乗ってみればわかります。人の想いを届けてみればわかります。

さあ未来へと走ってみよう、トラボーイ・トラガールとして。

平成27年度環境標語最優秀作品

トラックが僕らの未来を守ります
暮らしと荷物と環境を

(一社)山梨県トラック協会・(公社)全日本トラック協会

食の展示
・商談会



観光商談会
同時開催!
やまなしグリーンズフェア

やまなし食のマッチングフェア2016 in TOKYO

“優れた農畜産物・食材、特徴的で魅力ある食品・特産品を取扱う事業者のみなさまへ”

◆ 出展者大募集! ◆

◎首都圏を中心とした【食】のバイヤー、【観光】関連業者のみなさまと直接商談する絶好の機会です。ぜひご参加ください!

■日時 7月21日(木) 10:00～17:00

■会場 京王プラザホテル(新宿)本館4階

■主催 株式会社山梨中央銀行

■お問い合わせ先 山梨中央銀行の本支店
または事務局055-224-1091

山梨を支える企業とともに

「経営改善策定支援事業」を利用し、経営改善を行う方の
負担額の2分の1を補助します

●取扱例: 経営改善費用150万の場合

国: 100万円 保証協会: 25万円 事業者負担額: 25万円

※詳しくは下記までお問い合わせください。

無料相談実施中

●当協会では、中小企業診断士・経営アドバイザーが金融・経営に関する相談を受け付けております。

◆相談日 第1・第3木曜日(原則) ◆時間 16時～18時

◆場所 本店:甲府市飯田2-2-1 中小企業会館1階

〔事前予約制〕 下記までお気軽にご連絡ください。

山梨県信用保証協会

甲府本店 TEL 055-235-9700

0120-970-260

富士吉田支店 TEL 0555-22-0992